

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年12月22日
事業者名:	中部電力パワーグリッド株式会社 岐阜支社、多治見支社、高山支社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	脱炭素社会に向けた次世代ネットワークの構築 <リスク>再生可能エネルギーの大量接続に伴う潮流の複雑化等による安定供給への懸念 <機会>再生可能エネルギーの導入ニーズの高まり	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに, ⑫つくる責任 つかう責任, ⑬気候変動に具体的な対策を	地域別電力需要予測 (DFES) 開発/後記、目標に対する取り組みを実施【2022年度】	指標	地域別電力需要予測 (DFES) を用いた設備計画立案/コネクト&マネージ実現に向けた取り組み
				目標	地域別電力需要予測 (DFES) を用いた設備計画立案/コネクト&マネージ実現に向けた取り組みの確実な実施【2023~2027年度】
社会	DXを活用した業務変革・新たな価値創出 <リスク>DXによる新たな働き方や先端技術活用への対応の遅れ/競合他社のDX推進加速 <機会>デジタル技術を活用した業務変革/エネルギープラットフォームとデータプラットフォームの融合によるお客さまサービス変革	⑧働きがいも経済成長も, ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	DX推進・キーパーソン 500人【2022年度】	指標	当社制度であるDX推進・キーパーソン育成数
				目標	1,300名【2020年代後半】
経済	レジリエンス・大規模災害対応力の強化 <リスク>自然災害の激甚化 <機会>レジリエンス意識の高まり/安定供給ニーズの再認識	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに, ⑪住み続けられるまちづくりを, ⑬気候変動に具体的な対策を	①大規模災害発生時等における事業継続を目的に設備対策・業務運営などの課題検討を継続し、BCM委員会、リスクマネジメント会議にて報告 ②非常対応能力の維持・向上を目的とした南海トラフ地震等を想定した各種訓練・演習を実施③開発工程中 (2023年10月運開予定)【2022年度】	指標	中部電力グループ全体の事業継続体制・運営/①事業継続②訓練、演習の取り組み
				目標	中部電力グループ全体の事業継続体制・運営の強化/①事業継続②訓練、演習の継続実施
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 中部電力グループは、持続可能な社会の発展に貢献するため、当社グループの行動規範であるCSR宣言に基づき事業活動を展開し、企業理念に定めた私たちの社会的使命を果たすことで、社会とともに成長していきたいと考えています。そのため、「①課題の抽出②重要性評価③妥当性の確認④重要課題の特定」のプロセスを通じ、中部電力グループのマテリアリティ (重要課題) を特定し、対応する指標・目標を定め、課題解決に優先的に取り組んでいます。特定した重要課題は、事業を取り巻く環境に応じ変化するものであり、定期的に見直していきます。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 https://www.chuden.co.jp/csr/			